

令和6年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和南高等学校）（学校番号　s 51）

目指す学校像	文武において高きに挑み、深く学び、地域社会・国際社会に貢献することができる「知・徳・体」の調和がとれた人材を育成する学校
重点目標	1　自己実現…主体的に学習して自己実現を図る生徒を育成する教育体制の構築を推進 2　文武自考…主体的に取り組む生徒を育成するため活力と特色ある教育活動を推進 3　情報発信…コミュニティ・スクールとして積極的に情報発信を行い信頼される学校づくりを推進

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

学 校 自 己 評 価					評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価（2月6日現在）		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 進学重視型単位制、55分授業、週34単位、年8回の土曜授業というシステムが定着。現役4年制大学進学率は10年連続80%を超えており、昨年度は94.6%となり過去10年で最高となった。 スクール・ミッション、スクール・ポリシーを継続する。 【課題】 ・学校推薦型選抜、総合型選抜の比率は依然として高いが、一般選抜の比率も高まっている。その結果、現役4年制大学合格数は増となり、より高みを目指し第一志望を諦めない生徒を育成する。 ・全年次でタブレットを所持する完成年度である。授業改善と授業環境の整備を両輪とし『スクール・ミッション、スクール・ポリシー』を周知し実現する ・市教委と連携し「南高2030プロジェクト」について、継続して検討。	授業力向上による確かな学力の向上	・ICTを活用した「個別最適な」「協働的な」「探究的な」学びの授業改善を推進する。 ・授業改善検討チームを発足し、更なる授業改善を推進する。 ・南高2030プロジェクトチームを継続し、将来構想について検討する。	・生徒・保護者アンケートでICTを活用している90%以上。 ・生徒・保護者アンケートで授業満足度80%以上。 ・外部講師による指導力向上研修を年2回以上実施。 ・教員相互の授業観察を実施。 ・南高2030プロジェクトチームにて、年度内に将来構想案を作成。	・生徒・保護者アンケートでICTを活用している、生徒98.5%、保護者87.7%。 ・生徒・保護者アンケートで授業満足度、生徒80.5%、保護者78.8%。 ・5/9前教育長に、10/30駿台予備学校に依頼し、授業改善教員研修会を実施。 1/28ClassiNOTE授業改善研修を実施。 ・授業公開週間6/21～28・11/18～22、初任者研修・年次研修・教科研修の研究授業にて、教員相互の授業観察を実施。 ・南高2030プロジェクトチームにて、将来構想案を提案。	A	・ICTを活用した「個別最適な」「協働的な」「探究的な」学びの授業改善を、継続して推進する。 ・外部講師を招聘し授業改善研修を継続して行う必要がある。 ・教員相互の授業観察をさらに継続して行っていく必要がある。 ・南高将来構想を全職員で共有し、全教職員が丸一となって取り組んでいく。
		着実なキャリア教育の推進と生徒の進路実現に向けた計画的な取組	・3年間の計画的な進路指導の実施により進路希望の実現。 ・共通テストまでの指導を充実させ、現役大学進学率の増加。	・生徒アンケートで進路行事を計画的に行っている90%以上。 ・大学入学共通テストの受験者90%以上。 ・現役大学進学率90%以上。 ・国公立大学合格者20名以上。 ・早慶上理・GMARCH合格者80名以上。	・生徒アンケートで進路行事を計画的に行っている、生徒95.4%。 ・大学入学共通テストの受験者91.0%。 ・2/6現在、現役大学進学率42.6%。 ・2/6現在、国公立大7名合格。 ・2/6現在、GMARCH以上20名合格。 3月まで一般選抜の結果待ち。	B	・より高みを目指し第一志望を諦めない生徒を育成するため、一般選抜まで見通した指導が必要である。 ・学校推薦型選抜、総合型選抜等にも対応した、面接や小論文指導を行っていく必要がある。
2	【現状】 文武自考に基づき、すべての活動に主体的に取り組む生徒を育成するため、活力と特色ある教育活動を目指し実践している。生徒の学校行事に意欲度は96.1%、部活動が盛んである意識度98.7%と非常に高い。総合的な探究の時間を活用したカリキュラム・マネジメントを今後も研究していく。 【課題】 ・授業、生徒会・委員会活動、部活動、学校行事など全ての活動に、生徒の主体的な活動を積極的に組み入れる。 ・総合的な探究の時間の再構築2年度目となり、課題設定・解決能力を育む活動に深化させる。 ・授業に探究活動を更に積極的に組み入れる。	主体的に取り組む生徒を育成するための特色ある教育活動	・3年間を見通した総合的な探究の時間を計画し、主体的に取り組む生徒の育成。 ・生徒が主体的に取り組む学校行事の実施。 ・2年次海外研修旅行や海外交流事業への積極的な参加。	・総合的な探究の時間にて、グループ探究からプレゼンテーションを実施し、主体的な学びを実現。 ・生徒・保護者アンケートで学校行事に意欲的に参加できている95%以上。 ・生徒アンケートで学校生活に満足している90%以上。 ・2年次生徒アンケートで研修旅行に積極的に活動した95%以上。 ・海外交流事業への応募者数の増加。	・3学期に総探にてプレゼンテーションを実施。 ・生徒・保護者アンケートで学校行事に意欲的に参加できている、生徒97.0%、保護者86.9%。 ・生徒アンケートで学校生活に満足している、生徒91.8%、保護者88.3%。 ・2年次生徒アンケートで研修旅行に積極した、98.0%。 ・ニュージーランド姉妹校交流に10名が参加。ビッツバーグ市姉妹都市交流に2名参加。 ・日本赤十字の日本代表選出され、INTERNATIONAL STUDY AND FRIENDSHIP CAMPに1名参加。	A	・総合的な探究の時間にて、主体的に取り組む生徒の育成を目指し、継続して行っていく。 ・生徒が主体的に取り組む学校行事の実施をさらに進化させ、学校満足度95%以上を目指す。 ・海外交流事業は本校の重要な教育活動であるため、継続して行っていく必要がある。
		部活動の更なる活性化	・生徒の主体性を引き出し、成就感や達成感を感じさせる部活動の実践。	・生徒アンケートで部活動が盛んである98%以上。 ・部活動への加入率90%以上。 ・各部活動の大会や発表会等の結果向上。	・生徒アンケートで部活動が盛んである、99.8%。 ・部活動加入率89.3%（昨年比+0.1%）。 ・関東大会に男子卓球・男子ソフトテニス・陸上・バトンの4部が出場した。 ・全国大会にバトン部が出場し、MAJORETTE部門で1位を獲得した。 ・卓球部男子個人で全国選抜大会に出場。	A	・生徒の主体性を引き出し、成就感や達成感を感じさせる部活動の実践ができている。 今後も部活動の更なる活性化を目指す。
3	【現状】 コミュニティ・スクールとして地域との連携が評価され、今後も連携を継続する。本校の魅力を更に発信するため、入試制度の変更を踏まえ、生徒募集のやり方についてブラッシュアップしていく必要がある。 【課題】 ・本校教育活動への理解を更に深めてもらうため、より一層の地域に開かれた信頼される学校づくりの推進が必要。 ・生徒募集を見据えた更なる情報発信の推進が必要。 ・学校説明会の工夫、中学校・塾への説明を実施、効果的な情報発信などを検討する。	コミュニティ・スクールとして開かれた学校づくり	・近隣小中、辻地区、市及び南区との連携を推進。 ・学校運営協議会との連携・協働の充実。	・辻小学校と連携してチャレンジスクールの実施。 ・近隣小中、辻地区、市及び南区と連携事業の実施。 ・学校運営協議会を通して地域と有益な連携・協働の実施。	・生物部と生徒会役員が計4回実施。 ・小中学生対象サマースクール等を6講座実施。辻地区ふれあいコンサートに音楽部と吹奏楽部31名参加。 ・生徒会役員が未来くるFM放送局・さいたま市タウンミーティングに参加。 ・南区ふるさと祭りにボランティア生徒20名参加。卓球部がT.T彩たま応援スイーツを共同開発。写真部がさいたま市カレンダー作成に協力。漫画研究部がツール・ド・フランスさいたまクリテリウムにてアート作品を協力。	A	・近隣小中、辻地区、市及び南区との連携事業を実施することができた。開かれた学校づくりを目指し、引き続き推進していく。 ・本校教育活動への理解を更に深めてもらうため、より一層の地域に開かれた信頼される学校づくりを推進していく。
		組織的、積極的な情報発信	・計画的な学校広報活動の推進。 ・学校HPの更新や新たな学校情報発信。	・学校説明会、部活動体験の参加者数の増加。 ・学校HP更新回数の増加。 ・中学校・近隣塾等への学校説明の実施。 ・学校広報活動により志願倍率1.3倍以上。	・1月末まで授業公開599名、説明会3177名、部活動体験538名参加。南高祭4093名来校。 ・HP南高リアルタイム185回(2/6現在) ・7月に生徒による母校訪問実施、校長が中学校22校、塾8校に訪問。 ・進学希望状況、10/1現在2.27倍(昨年比+0.5%) 12/15現在1.85倍(昨年比+0.29%)。	A	・学校説明会等の工夫、中学校・塾への説明を実施、学校HP等の効果的な情報発信を行い、進学希望状況が昨年度より上昇した。今後も本校の魅力を積極的に発信していく。

学校運営協議会による評価
実施日　令和7年2月10日
学校運営協議会からの意見・要望・評価等
・ICTの活用と充実を、今後も続けてほしい。 ・入学時に全生徒がタブレット購入しているので、タブレットを活用した授業を、推進してほしい。 ・授業満足度が上がるように、先生方には授業改善のため、引き続き研修を重ねてほしい。 ・南高将来構想については、特色を持った学校として期待している。 ・校舎や体育施設の充実をお願いしたい。
・共通テストの受験率は素晴らしい結果である。 ・入試の方法が様々なので、早い段階で進路情報を生徒と保護者に提供してほしい。 ・卒業後の進路が重視されるので、キャリア教育の充実を今後も続けてほしい。 ・学校推薦型選抜、総合型選抜等の年内受験に安易に流れないように、生徒・保護者に進路情報を提供してほしい。
・オーストラリアの海外研修は南高の魅力として素晴らしい取り組みなので、今後も続けてほしい。 ・短期間で希望者ではあるが、海外留学は素晴らしい経験ができるので、今後も続けてほしい。 ・勉強だけでなく、学校行事も学校の魅力の1つであるので、生徒主体の学校行事を継続してほしい。 ・総合的な探究の時間では、生徒の探究心やプレゼンテーション力をさらに伸ばしてほしい。
・大会での結果を見ても、部活動の充実が素晴らしい。 ・部活動の頑張りが伝わってくるので、引き続き部活動に力をいれてほしい。 ・学校の特色として、引き続き部活動に力を入れてほしい。
・小中高の連携、辻地区・南区・さいたま市と連携し、様々なところで南高生が活躍してくれたので、今後も地域との連携を続けてほしい。 ・今後も地域連携を継続し、地元の小中学生からあこがれの先輩として、南高生の活躍を期待している。 ・学校行事にPTA活動をもっと取り込んで、協力していきたい。
・ホームページだけでなく、SNS等の積極的な発信の検討をお願いしたい。 ・生徒主体の学校説明会を実施すると、生徒目線での情報発信があり、検討してほしい。 ・授業公開・学校説明会にて、いつも校長が玄関前に立って出迎えているのが好印象で素晴らしい。